



# 北総モラルアップ通信

子ども・職員・保護者・地域の未来にむけて！「ていねいに、たいせつに」

令和7年度も残りわずかとなりました。職場のモラルを保ち、新年度も北総すべての子ども達にとって安全・安心な学校であり続けられるよう、今号は学校での安全点検について、富里市立根木名小学校を紹介します。根木名小学校は、吉田壮一校長先生のリーダーシップのもと、様々な工夫をして子ども達が安全安心に学校生活を送れるよう取り組んでいます。インタビューにご協力いただいた安全主任の小倉 司先生、お忙しい中ありがとうございました。

## 【今月のテーマ】 「安全点検を丁寧に・大切に」

### Q 安全主任として、これまでの学校安全点検にどんな課題を感じていましたか？

ひとつは施設の老朽化です。根木名小学校は創立から40年以上経ったこともあり、また3.11の影響と考えられる校舎のひび割れなどがありますが、毎回の点検で報告があがって来ても、「ああ職員では直せないんだよなあ」と思うことがあり、すごくジレンマというか悩みを感じています。

ふたつ目は先生方の忙しさです。点検結果から、「次からはこうしてみたい」と思っても、先生方の負担を増やしてしまうかも…と思うと、変革することに自らブレーキをかけてしまうことがあります。

### Q 安全点検で工夫している点がありますか？

管理職への報告は、写真を添えています。例えば、去年は窓ガラスのひび割れが多かったのですが、割れている箇所を細かく書いても管理職の方にとっては特定しにくいと思い、写真でわかりやすくして、修理の優先順位を判断する際の材料にいただいています。

### Q 安全主任をされていてご自身に何か変化はありましたか？

安全点検をとおして学校全体の安全のことを更に考えるようになり、例えば自分自身の授業の中で「これで安全なのか」と自問することがすごく増えました。過去に、自身が未熟だったため体育の授業で子どもに怪我をさせたことがありました。この学校で安全主任をやらせていただき、すごく視点が変わったかな、と思います。学校が安全だからこそ児童は安心して登下校できるし、心から楽しく学習に向き合えるというところはすごく意識するようになったと思います。



早くインタビューに応じてくださった安全主任の小倉先生。理科の授業では必ず白衣を着るそうです。理由は、初任の時に先輩からアルコールランプが倒れて火が机の上に燃え広がっても、白衣を濡らして使えば延焼を止めることができると教わったからだそうです。

### Q 「安全主任をやっていてよかった」と思う瞬間は？

「児童が一年間大きな事故や怪我なく過ごせました」と養護教諭の先生から声をかけてもらった時は、やっぱり嬉しかったです。

また、交通安全指導や不審者対応訓練、避難訓練を計画する時に悩んでいると、同僚の先輩方から「他の学校でこういう事やってたよ」等アイデアを教えてください。「その仕事は安全主任なのだからあなたが考えて」ではなく職員みんなで児童のために一緒に考えている時、「安全主任をやっていてよかったな」と思います。

## Q これから学校安全点検を工夫したい学校へのアドバイス・安全主任の先生方にメッセージをお願いします

根木名小学校にも年に数回しか使用しない設備がいくつかあります。いつでも安全に使えるよう、設定方法や使い方を写真や動画で残しておくとういと思います。その学校に長く勤める先生だけが分かることもあります。その先生が異動した時のことを考え、新しく異動してくる先生方のためにも、記録に残すことをおすすめします。

自分の気づきや努力が子ども達の安全・安心に直結している点が安全主任の仕事の醍醐味だと思います。「誰も悲しませない」という強い思いを心に秘めて安全点検等をお願いしたいと思います



学校保健安全法第 27 条に基づき、学校には施設・設備の安全点検が義務付けられています。安全点検の真の目的は、単なる「確認作業」ではなく、「教職員の危機管理意識を高め、事故を未然に防ぐこと」にあります。社会情勢や施設の経年劣化に合わせ、点検項目は適宜改訂していくことが不可欠です。ぜひ各校の工夫で、「例年通り」の形骸化を防ぎましょう。

文部科学省の「学校における安全点検要領」を参考に、学校安全点検の追加点検項目(案)を作成しました。次年度に向けた改訂の参考にしてください。

### 令和8年度にむけた学校安全点検 追加点検項目(案)

- 薬品棚の固定 (p44)
- 棚上の重量物 (例: 美術デッサン用の石膏製頭部) (p45)
- 天井吊りスクリーンの取付金具の腐食 (p46)
- 子どもの目線の高さにある樹木の枝(p49)
- 壁面の折れた画鋲の針(p52)
- 児童の荷物かけ用フックの飛び出し(p52)
- エキスパンション・ジョイントのカバー材の外れ(p54)
- 空調室外機の傾き(p56)
- 校舎吹き抜け部分の落下防止措置(p59)
- ブロック塀の傾き・ひび割れ(p62)
- タブレット充電棚コンセントの破損・使用制限を超えた接続・綿埃等の集積(p66)
- 一時的に立てかけている重量物 (長机、脚立、体育館ステージ階段 等) (p67)

( )内のページは文部科学省「学校における安全点検要領」に対応

そのほか、

- ハチの巣
- 防犯カメラの死角確認
- 不審者用催涙スプレーの残量・置き場所
- 防犯ブザーの電池残量
- 放課後児童クラブや学童等の備品が避難経路を塞いでいないか

なども追加点検項目として考えられます。真に子ども達のためになる安全点検となるよう、「異常なしを確認する」点検から、「危険を発見する」点検への転換をぜひお願いします。

また現在、北総教育事務所として地道に、継続的に取り組んでいる「不祥事根絶」についても、各教室等の状況を確認することは、物理的死角をなくすことにつながりますので、全校体制で取り組んでいきましょう。